資料１

１　障がい者差別解消及び障がい理解促進に向けた取組

（１）障がい者の状況

令和７年４月１日における本市の人口は 89,836 人である。そのうち、障がい者手帳の所持者数は 4,721 人（重複含む。）で、人口に占める手帳の所持者の割合は 5.2%である。

身体障がい者手帳の所持者数は減少傾向にあり、令和２年と比べ 393 人減である。

知的障がい者（療育手帳）の所持者数は増加傾向にあり、令和２年と比べ 94 人増である。

精神障がい者保健福祉手帳の所持者数は増加傾向にあり、令和２年と比べ 205 人増である。

等級別では、１級が 20 人(45%)の増、２級が 124 人(34%)の増、３級が 123 人(111%)の増となっている。

ア　障がい者手帳所持者数の推移　（単位：人）

	R2	R3	R4	R5	R6	R7
人口	92,689	92,130	91,458	91,067	90,669	89,836
身体障がい者	3,492	3,429	3,346	3,288	3,185	3,099
知的障がい者	705	719	733	757	765	799
精神障がい者	586	600	709	737	791	823
手帳所持者計	4,783	4,748	4,788	4,782	4,741	4,721

各年４月１日現在

手帳別所持者の人口に対する割合の推移　（単位：%）

人口	R2	R3	R4	R5	R6	R7
身体障がい者	3.8	3.7	3.7	3.6	3.5	3.4
知的障がい者	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8
精神障がい者	0.6	0.7	0.8	0.8	0.9	0.9
手帳所持者計	5.2	5.2	5.2	5.3	5.2	5.2

各年４月１日現在

イ　障がい者手帳等級別内訳の推移　（単位：人）

区分		R2	R3	R4	R5	R6	R7
身体	１級	911	921	932	930	895	879
	２級	513	502	490	467	451	435
	３級	806	784	730	696	663	651
	４級	849	832	812	815	803	776
	５級	159	145	141	142	139	134
	６級	254	245	241	238	234	224
	計	3,492	3,429	3,346	3,288	3,185	3,099
療育	A	263	264	269	275	269	277
	B	442	455	464	482	496	522
	計	705	719	733	757	765	799

精神	1級	44	51	56	61	64	59
	2級	390	390	454	463	493	487
	3級	152	159	199	213	234	277
	計	586	600	709	737	791	823
合計		4,783	4,748	4,788	4,782	4,741	4,721

各年4月1日現在

ウ　身体障害者手帳交付者の内訳　（単位：人）

障害区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	合計	割合
視覚障害	51	48	7	14	21	11	152	4.9%
聴覚・平衡機能障害	23	67	55	46	3	146	340	11.0%
音声・言語・咀嚼機能障害	1	2	15	19	0	0	37	1.2%
肢体不自由	279	300	274	364	110	67	1,394	45.0%
内部障害	525	18	300	333	0	0	1,176	37.9%
合計	879	435	651	776	134	224	3,099	100.0%
等級別割合	28.4%	14.0%	21.0%	25.1%	4.3%	7.2%	100%	

令和7年4月1日現在

（2）第3次射水市障がい者基本計画における施策の体系

	基本目標	主要施策
ア	権利擁護と障がい理解の促進	①理解・啓発活動 ②福祉教育・人権教育 ③権利擁護の推進 ④虐待防止 ⑤地域ネットワークづくり
イ	自立（自律）した生活支援と意思決定支援の推進	①相談支援体制 ②情報アクセシビリティと意思疎通支援の充実 ③障がい福祉サービスの充実 ④日中活動の場づくり ⑤居住支援 ⑥経済的支援の充実
ウ	一人ひとりのライフステージに沿った支援	①インクルーシブ教育 ②文化芸術活動、スポーツ等の推進 ③社会参加の機会 ④就労支援、就労の場の確保

エ	保健・医療の充実	①早期発見、早期療育 ②保健・医療等の充実
オ	安全・安心な生活環境の整備	①バリアフリー化、ユニバーサルデザイン ②防災・防犯対策
カ	多様なニーズに対応した支援	①重層的支援体制 ②当事者・家族への支援

（３）令和６年度障がい者差別解消及び障がい理解促進事業実施状況
（令和７年度については直近の状況を記載）

ア　交流と啓発の推進

① 権利擁護と障がい理解の促進

事業名	内　容	実施状況	令和７年度
出前講座 (社会福祉課)	･5講座（①障害者差別解消法とは、②障がい者福祉サービス、③障害者虐待防止法とは、④手話を学ぼう、⑤点字を学ぼう）	④1 回	②実施予定
広報等による市民への周知 （社会福祉課） （未来創造課）	・広報、ホームページ等に障がい者理解の促進について掲載	ホームページ掲載	実施継続
「障がい者週間」の啓発活動 （社会福祉課）	「障がい者週間（12 月 3 日～9 日）」に合わせ、障がいのある方の作品展示や障害福祉サービス事業所の紹介および製品の販売及びスポーツ体験講演会等を行った。（市役所エントランスホール、中央図書館、救急薬品市民交流プラザ）	12 月 2 日～17 日	12 月 2 日～16 日開催予定
聴覚障がい者理解促進の取組 (社会福祉課)	東京 2025 デフリンピック全国キャラバン隊による大会 PR 並びに聴覚障がい者理解促進を図る手話体験の実施	－	8 月 29 日 射水市役所ロビーで開催
理解促進・啓発事業 （社会福祉課）	障がい者や障害特性等に関する地域住民の理解を深め、また、「心のバリアフリー」の推進を図るため、研修並びに啓発活動を実施している。 （R5：市内 3 法人に事業委託）	3 回 （各法人 1 回実施）	3 回予定 （各法人 1 回実施）
ヘルプマーク （社会福祉課）	義足や人工関節を使用しているなど外見からは分からない方々に配慮を必要としていることを知らせることで、援助が得やすくなるようにかばん等につけるマークを県が作成し、市町村窓口等で配付している。 （R5：149 個交付、累計 760 個）	148 個交付 （累計 908 個）	実施継続

民生委員・児童委員、障がい者相談員合同研修会 （社会福祉課）	障がい者についての理解を深めるため、障がい特性の理解や障がい者差別解消について研修会を開催	1回(9月19日開催)	実施予定

② 福祉教育・人権教育

事業名	内容	実施状況	令和7年度
手話普及事業 （社会福祉課）	聴覚障がい者及び手話通訳士が小学校等を訪問し、簡単な手話での挨拶等を学ぶ手話教室を開催した。 （R5：4回、出前講座で対応）	2回 （出前講座で対応）	出前講座で対応予定

③ 権利擁護の推進

事業名	内容	実施状況	令和7年度
成年後見制度の利用促進 （地域福祉課） （社会福祉課）	市では、成年後見制度利用相談会を毎月開催している。 呉西地区成年後見センターで成年後見制度の相談、利用支援を実施している。 （R5：市相談会　12回） （R5：センター相談　被後見人に対する支援214件、制度及び申立20件）	・市相談会12回 ・センター相談 被後見人に対する支援137件 制度及び申立15件	実施継続

④ 虐待防止のための取組

事業名	内容	実施状況	令和7年度
射水市障がい者虐待防止ネットワーク会議 （社会福祉課）	被虐待障がい者の迅速かつ適切な保護等の体制整備に関すること、障がい者虐待防止に関することを協議している。	1回 （11月29日）	1回 （11月20日）

⑤地域ネットワークづくり

事業名	内容	実施状況	令和7年度
ケアネット活動 （地域福祉課）	地域の住民、民生委員・児童委員、地区社会福祉協議会等が障がい者を身近な地域で見守り、支え合う活動を推進している。 （R5：チーム員数466名、利用者数232名、活動延べ回数49,564回）	チーム員数446名 利用者数209名 活動延べ回数 52,420回	実施継続

イ　自立（自律）した生活支援と意思決定支援の推進

① 相談体制

〇地域相談員（富山県委嘱）　令和６年度末　115 人

〇地域活動支援センター「あいネットいみず」「つどい」「ふらっと」「むげん」

・障害に関する総合相談窓口として相談支援を実施

・障がい者や、その家族が創作活動や生産活動を通じて社会との交流を図る事業の提供

〇射水市ふくし総合相談センターすてっぷ（市社会福祉協議会）

・毎月市広報に連絡先を掲載

② 情報アクセシビリティと意思疎通支援

事業名	内容	実施状況	令和７年度
障がい者サービスガイドブック（社会福祉課）	障がい福祉の諸制度やサービスについて紹介したガイドブック(冊子)を発行している。	・窓口で交付 ・ＨＰに掲載	・窓口で交付 ・ＨＰに掲載
封筒の点字打刻（防災・資産管理課）	市からの文書であることが判断できるように封筒に点字打刻している。 （R5：184,000 部）	169,500 部	172,000 部（予定）
タブレット端末、磁気ループの活用（地域福祉課）（社会福祉課）	社会福祉課及び地域福祉課窓口にタブレット端末及びポータブル磁気ループを設置している。	設置	設置継続
声の広報の運用（社会福祉課）	視覚障がい者（希望者）に対し音訳ボランティアによる音声の広報を毎月送付している。 （R5：延べ 97 人）	延べ 156 人	実施継続
リーディングサービス（社会福祉課）	視覚障がい者（希望者）に対し音訳ボランティアが電話による新聞朗読をしている。(毎週木曜日の午後) （R5：44 回）	50 回	実施継続
手話通訳付きデマンドTV（未来創造課）	市長定例記者会見(毎月)と市長のタウンミーティングをケーブルテレビ等で手話通訳付きで放映している。	・市長定例会見（12 回） ・市長タウンミーティング（3 回）	・市長定例会見（12 回） ・市長タウンミーティング（２回）
手話通訳者・要約筆記者の派遣（社会福祉課）	聴覚、言語機能等の障がいで意思疎通を図ることが困難な方（希望者）に対し、通院や研修会参加時など手話通訳者や要約筆記者を派遣している。富山県聴覚障害者協会に委託し実施 (R5：手話 83 件、要筆 0 件)	手話通訳 84 件 要約筆記　0 件	実施継続

市手話通訳士の配置 （人事課）	手話通訳士の有資格者を配置し、市主催の行事や窓口において手話通訳を行っている。	地域福祉課に配置	地域福祉課に配置

④ボランティア活動の支援

事業名	内容	実施状況	令和７年度
ボランティア活動支援 （社会福祉課）	・手話、音訳、点訳など障がい者を支援するボランティア団体の活動を支援している。 ・手話サークル３団体、音訳、点訳ボランティアへの補助を行っている。	５団体へ補助金交付	５団体へ補助金交付
	障がい者やその家族が互いの悩みを共有することや情報交換ができる交流機会を設ける取組（ピアサポート活動）を行う市内２団体の活動を支援している。 （R5：97 回、参加延べ人数 735 名）	78 回 参加延べ人数 715 名	実施予定

ウ　一人ひとりのライフステージに沿った支援

② 文化・芸術活動、スポーツ等の推進

事業名	内容	実施状況	令和７年度
障がい者スポーツ大会等 （社会福祉課）	障がい者スポーツ大会等の開催準備や大会への参加を支援している。 （水泳、陸上、フライングディスク、卓球）	４競技の出場選手を支援	４競技の出場選手を支援
障害者文化芸術育成支援事業 （社会福祉課）	文化芸術活動を通じ、障がい者の生活の質の向上及び社会参加の一層の推進を図ることを目的とし、芸術活動の普及・育成・支援を行っている。	―	地域障害者作品展 射水市役所 ９月９日～11 日 11 団体又は個人の作品を展示

④就労支援、就労の場の確保

事業名	内容	実施状況	令和７年度
射水市障がい者活躍推進計画 （人事課）	障がい特性や個性に応じて能力を有効に発揮できるよう市役所全体として取り組むため、障がい者の法定雇用率の達成目標、体制整備等について計画を策定している。（計画期間：R7～11 年度） （R5：実雇用率 2.83%、法定雇用率：2.6%）	実雇用率 2.94% （法定雇用率 2.8%）	実施継続
市職員採用試験 （人事課）	障がい者に配慮した職員採用試験方法を導入している。　（点字受験等）	行政(障がい者)の採用試験実施	実施予定

障がい者就労施設等からの物品等の調達 （社会福祉課）	市の封筒に「射水市」の点字打刻作業や資源ごみの選別、公園のトイレ清掃等を障がい者就労施設等に発注している。 （R5：22 件、7,514,085 円）	14 件 5,947,660 円	14 件 6,722,395 円見込
障害者雇用奨励金の交付 （商工企業立地課）	国等の助成金支給期間満了後も引続き常用労働者として市内居住の障がい者を雇用する事業主に対し、奨励金を交付し、障がい者雇用を促進している。（R5：3 件、180,000 円）	4 件 240,000 円	実施継続

オ　安全・安心な生活環境の整備

① バリアフリー化、ユニバーサルデザイン

事業名	内容	実施状況	令和 7 年度
コミュニティバスの低床式バス等導入の推進 （生活安全課）	新規車両購入時には、低床式コミュニティバス及び可動ステップ付きＡＩオンデマンドバスの導入について要望している。 （R5：38 台のうち 29 台に導入）	44 台のうち 33 台に導入	導入予定
点字ブロック設置工事 （社会福祉課）	毎年、視覚障害者協会の要望等に基づき、視覚障がい者用の点字ブロックの整備を進めている。	県道新湊庄川線（大門二口地内） 施工期間：11/5～12/13　L＝10.8m	県道新湊庄川線（大門二口地内） 延伸予定
公衆トイレのバリアフリー化の推進 （都市計画課）	公園改修時に、障がい者対応型（オストメイト対応）トイレなどを整備している。 （R5：足洗潟公園北側トイレ整備）	本開発公園屋内遊具場トイレ整備	計画なし
車いすと歩行器を配備 （防災･資産管理課）	庁舎入口に車いすや歩行器を配備している。 R5 年度末　本庁舎：車いす 4 台・歩行器 2 台 大島庁舎：車いす 1 台・歩行器 1 台	配備 （5 年度末と同数）	配備 （6 年度末と同数）
富山県ゆずりあいパーキング(障がい者等用駐車場）利用証 （社会福祉課） （介護保険課） （こども福祉課）	車椅子使用者など歩行が困難な方に、利用証を交付することで、障がい者等用駐車区画の円滑な利用を促進する。県が作成し、市窓口で配布している。 （R5 年度末：交付数 259 件(累計 919 件)）	交付数 389 件 （累計 1,308 件）	実施継続
射水市バリアフリーマスタープラン （政策推進課） （生活安全課）	高齢者や障がい者などが日常生活や社会生活を確保する上で生活の支障となる物理的障害や精神的障害を取り除き、都市整備等と連携したバリアフリー化を推進するため、基本目標・基本方針を策定	越中大門駅エレベーターこ線橋新設詳細設計完了	越中大門駅エレベーターこ線橋新設工事着工 （令和 8 年度

（地域福祉課） （社会福祉課） （都市計画課） （道路課）	（計画期間：R2～6 年度） R5 年度：あいの風とやま鉄道線越中大門駅バリアフリー化整備計画を策定し、越中大門駅へのエレベータこ線橋*設置に向けた事業を実施 *こ線橋…鉄道線路上にまたがってかけた橋		完成予定）

②防災・防犯対策

事業名	内容	実施状況	令和 7 年度
いのちのバトン （地域福祉課）	医療情報や緊急連絡先等の情報を「いのちのバトン」容器に入れ、冷蔵庫に保管し救急時や災害時に活用している。 （R5 年度末：2,333 件登録、高齢者含む）	2,271 件登録 （高齢者含む）	実施継続
避難行動要支援者支援制度 （地域福祉課）	災害時避難等に不安があり手助け（援護）を必要とする方を事前登録し、災害時等に地域で支援を行う制度を推進している。 （R5 年度末：登録者数 1,306 人、高齢者含む）	登録者数 1,330 人 （高齢者含む）	実施継続
福祉避難所の指定 （地域福祉課）	災害発生時に、市指定避難所での生活が困難な高齢者や障がい者等、特別な配慮を必要とする方を受け入れる避難所を指定している。（R5 年度末：53 か所）	57 か所	実施継続
射水市防災訓練 （防災・資産管理課）	防災訓練時に障がい者を含む避難行動要支援者が参加し、福祉避難所の立ち上げや移送等の訓練を実施している。 （R5：10 月 29 日、七美地区）	9 月 29 日 南太閤山地区	9 月 28 日 庄西地区
円滑な通報環境の整備 （消防本部）	聴覚障がい者のため、急病やけが等による救急、火事等の緊急時の連絡をＦＡＸで受付している。 （R5：着信件数 0 件）	着信件数 0 件	実施継続
	ＮＥＴ１１９緊急通報システム 聴覚や音声、発話等に障がいのある方が、スマートフォンやタブレットの画面から、文字やテキストを使って、事故や急病等の通報を行うことができる。 （R5：登録者数 累計 39 名）	登録者数 累計 41 名	実施継続

カ　多様なニーズに対応した支援

① 重層的支援体制の整備推進

事業名	内容	実施状況	令和７年度
重層的支援体制の整備推進 （地域福祉課）	地域共生社会の実現に向け、複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制の整備に取り組んでいる。	・多機関協働事業 支援数19世帯 ・参加支援事業 ・アウトリーチ等を通じた継続的支援事業の実施	実施継続
射水市障がい者総合支援協議会 （社会福祉課）	障がい者が地域で安心して暮らすことができる支援体制や地域活動支援センターの活動及び相談支援の状況、障害福祉計画策定等について協議している。 （R5：5回）	1回 7月3日	1回 7月16日
射水市における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領 （社会福祉課）	市職員が対応するために必要な事項を定め、周知を図っている。	庁内掲示板にて周知	庁内掲示板にて周知

（４）差別に関する相談・通報について

（件）

	射水市			富山県		
年度	R4年度	R5年度	R6年度	R4年度	R5年度	R6年度
相談・通報件数	0	0	0	17	22	12